



曲名 マイバラード

松井孝夫 作詞・作曲

この曲は!

中学校の教師を長きにわたり務められ、現在は大学で教鞭を執られている松井孝夫先生が、最初に作曲された大人気の合唱曲です。イ長調のキラキラした調性で、リズムがとにかく格好いい作品です。みんなで歌うことの素晴らしさを存分に感じて歌い上げてください。

藤原式練習法

- ・4ビートを感じるころから始めよう ~ 4分音符をメトロノーム88ぐらいで、1小節に4回たたいてみよう。
- ・登場するリズムパターンを書き出して、そのリズムパターンをたたいて楽しもう。
- ・歌詞を声に出して読み、歌詞でリズム読みをしてみよう。
- ・リズムがどんどん変化していく爽快感、心地よさを味わおう。

具体的なアドバイス・ポイント

この曲は1番、2番の有節形式*にサビがプラスされ、リフレインする構造となっています。1番、2番それぞれ大きく3つに場面が展開していきます。その場面ごとの音楽的特徴をしっかり捉えましょう。

- ・フレーズによって歌い切りの音の長さが違うところに気を付けて表現しましょう。長さ(音価)を正確に。そしてタイの感じ方もポイントです。
- ・サビの「きらめけ世界中に」は自信たっぷりにのびやかな歌声を聴かせましょう。身体でしっかりと支えた声のできるだけ遠くまで、呼吸を連動させて無理のない発声で。

*有節形式：次々と進む歌詞に対して、1つの旋律を何度も繰り返すように曲が付けられているもの。

この曲を初めて歌う人に

とにかくビートにのって、歌詞とメロディー、リズム、この曲の好きなところをいっぱい感じて、声高らかに歌ってほしいです。きっとみんな大好きな曲になるはずです。もっと言えば、一緒に歌う仲間や先生を誇らしい存在に感じることでしょう。

表現を深めよう

ミュージカルのテーマソング、エンディングソングにもなりそうな『マイバラード』。もし各パートの音取りがうまくできたら、並びをシャッフル(各パートバラバラ)して、立体的なサウンドを楽しんでみてください。そして、指揮を直視して歌うのではなく、舞台に登場する役者のような格好いい姿勢で遠くを見つめて歌う練習もきっと効果的です。

より感動的に歌い上げるためのアドバイス

自分の思いを声にする、その声仲間や友達の声と重なり合い、お互いの空気が振動する、一緒に歌うことの醍醐味にあふれている曲です。思いっきり今の自分を信じて歌い上げることが、感動的な世界をつくり上げることにつながるでしょう。